

# ほすびたる

臨時号

2004.7

## 公立豊岡病院組合からのお知らせ

### C型肝炎ウイルス検査のおすすめ

#### — 血液製剤「フィブリノゲン」使用についての情報公開 —

フィブリノゲン製剤とは、主に止血剤として用いられる薬剤ですが、国の承認薬剤であったにもかかわらず、一時期、その使用が原因と思われるC型肝炎が発生し、国・メーカーを相手とした裁判などで社会問題となっています。

調査の結果、当病院組合の病院においてもフィブリノゲン製剤の購入が判明しましたので、今回、この件について情報を公開し、C型肝炎ウイルス検査の呼びかけを行うこととしました。

フィブリノゲン製剤購入本数は、三菱ウェルファーマ社（製薬会社）の調査によると、1980年（昭和55年）から、1988年（昭和63年）（緊急安全情報により同製剤の購入を中止した年）までの9年間で、

公立豊岡病院（1,607本）・公立日高病院（53本）・公立出石病院（4本）であることが判明しました。

#### — お問い合わせ・ご相談受付について —

フィブリノゲン製剤が使用されたとしてもC型肝炎ウイルスに感染するとは限りませんが、念のために検査をお勧めするものです。また、あわせて、輸血など他の感染原因によるものも含めて、広くお問い合せ・ご相談を受け付けることとしました。

- ① 法律で定められた5年の保存期間を超える入院カルテを保存している、豊岡（1966年（昭和41年）～）・日高（1989年（平成元年）～）・出石（1983年（昭和58年）～）・和田山（1967年（昭和42年）～）の各病院については、お問い合わせの患者様のカルテが現存する場合、フィブリノゲン製剤の投与の有無をお答えするとともに、他の感染原因である輸血等の有無についてもお答えします。
- ② 肝炎検査及び一般的なC型肝炎に関するご相談に応じます。

#### 検査について

C型肝炎ウイルス検査は、病院や保健所で受けることができます。裏面の記載に心当たりのある方は、ぜひお問い合わせの上、検査を受けられることをおすすめします。

詳しくは病院や保健所（裏面に連絡先があります）へお問い合わせください。



**必ず裏面もごらんください**

## C型肝炎とは

C型肝炎ウイルスによる感染症で、慢性肝炎、肝硬変、肝臓がんになる可能性のある病気です。体がだるい、食欲がない、吐き気がする、などの症状が出ることもありますが、多くの場合は、自覚症状がほとんどないまままで病気が進行するので、検査を受けることが病気を発見するためには重要です。C型肝炎には、ふつうの生活で感染することはほとんどありません。

### C型肝炎ウイルス感染の可能性が一般より高いと考えらる方

1. 1992年(平成4年)以前に輸血を受けたことのある方  
(1993年からはC型肝炎ウイルス検査確立・国内の献血使用)
2. 感染危険性のある血液凝固因子製剤(フィブリンゲン等)の投与を受けた可能性のある方  
(手術などの外科的処置、妊娠・分娩時の多量の出血など)
3. 薬物濫用者や入れ墨・ボディピアスを施している方
4. 過去に健康診断等で肝機能検査の異常を指摘されている方等

**以下の窓口にお問い合わせ・ご相談ください**

#### 病院へのお問い合わせ・ご相談窓口

以下の各病院のC型肝炎相談窓口へお申し出ください。

- 公立豊岡病院 電話 0796-24-3123 (専用直通電話)  
または 0796-22-6111 (代表)
  - 公立日高病院 電話 0796-42-1611 (代表)
  - 公立出石病院 電話 0796-52-2555 (代表)
  - 公立梁瀬病院 電話 079-676-3157 (代表)
  - 公立和田山病院 電話 079-674-2021 (代表)
- その他、公立八鹿病院においても購入がありましたので相談される方は、
- 公立八鹿病院 電話 079-662-3135 (代表)

受付時間 平日(月曜日～金曜日) 9:00～17:00

#### 保健所

- 但馬県民局豊岡健康福祉事務所(豊岡保健所)  
電話 0796-23-1001 FAX 0796-24-4410  
電話相談【月～金】9:00～17:15
- 但馬県民局和田山健康福祉事務所(和田山保健所)  
電話 079-672-6870 FAX 079-672-5992

